

倉敷市スポーツ章（スポーツ振興功労者）

（規則第3条第2項第1号に該当）

（氏名については敬称略）

No.	氏名	推薦団体	主な功績
1	かわげ じろう 川毛 二郎	公益財団法人 倉敷市スポーツ振興協会 軟式野球部	昭和53年から（一財）倉敷市体育協会（※）軟式野球部倉敷地区の審判長を務めるとともに、県内外において審判技術の指導を行うなど、後進の育成に尽力してきた。 平成9年に岡山県シニア軟式野球連盟を、平成11年には全日本シニア軟式野球連盟を立ち上げ、平成13年には国内で初の全国大会となる全日本シニア軟式野球選手権大会（シニアの甲子園）を倉敷市で開催し、現在に至るまで大会運営に携わるなど、軟式野球競技の発展と普及への功績は顕著なものがある。
2	のま ふみこ 野間 富美子	公益財団法人 倉敷市スポーツ振興協会 テニス部	平成15年から（一財）倉敷市体育協会（※）テニス部の理事を務める。 平成25年には同テニス部のコア会議のメンバーとなり、大会運営に携わってきた。 現在も現役選手として活動し、女性ならではの細かい気配りや長年の競技人生で培った経験と広い視野をもって、テニス競技の普及・発展に貢献している。
3	やまもと いつみ 山本 伊都海	公益財団法人 倉敷市スポーツ振興協会 弓道部	昭和62年から平成27年まで倉敷市弓道連盟の事務局長を務めたのち、会長を経て、現在は名誉会長として活動している。 40年近く、中高生を含む多くの初心者指導・育成するとともに、（公財）倉敷市スポーツ振興協会主催の弓道教室の責任者として、弓道競技の普及に尽力してきた。 自らも精進し、全日本弓道連盟の錬士の称号を有するなど、弓道に対する真摯な姿は他の模範となるものである。
4	こじょう かつまさ 古城 勝政	公益財団法人 倉敷市スポーツ振興協会 スキー部	平成19年から第1回倉敷市民スポーツフェスティバルスキー競技会の役員を務め、平成24年には（一財）倉敷市体育協会（※）スキー部の事務局長となり、退任後も実行委員として長年にわたり競技会の運営を支えてきた。 玉島スキークラブの会長・副会長として、倉敷市民スキー大会の役員を務め、大会の広報や大会に向けた強化合宿等を行ってきたほか、積極的な指導者養成に取り組んでいる。 また、スキー初心者・初級者が参加する「スキーバス」の運行責任者として活動するなど、スキー競技の普及・振興に貢献している。

※現（公財）倉敷市スポーツ振興協会